



Mio Moriyama 森山 美桜
Ryotaro Sato 佐藤 瞳太郎
Yoshihiko Yamazaki 山崎 麟彦

&blue、小石川 彩菜、小林 知世、葛西 由香、佐藤 祐治
裏あゆみ、堀江 理人、高橋 一矢、野澤 尚也
and 松本ナオヤ - くらたてさえ、マシユマロ美

Ku-kan ARTIST'S FES

12.6 Sat-8 Mon Entrance fee: ¥500
12.13 Sat-15 Mon 13:00-19:00

@空間 Ku-Kan

北海道札幌市中央区大通東8丁目1-62
スクランブルガレージ2F



Ku-kan ARTIST'S FES

12月6日から12月15日にかけて、「Ku-kan ARTIST'S FES」を開催します。本企画は、「空間」を会場としたアーティスト主体のアートフェア・物販イベントです。「空間」の会場を生かしたインスタレーション作品の展示を行うZONE Aとアーティストによる作品の展示販売を行うZONE Bを設けます。

日時 12月6日(土) - 8日(月) 土・日・月OPEN
12月13日(土) - 15日(月) 13:00 - 19:00

入場料 ¥500 ※作品や商品を500円以上購入された方は無料

場所 空間 Ku-kan
北海道札幌市中央区大通東8丁目1-62スクランブルガレージ2F



ZONE A

ZONE Aでは札幌にゆかりのある3名のアーティストによる作品を展示します。

森山美桜は札幌大学芸術学部美術学科を卒業後、現在は札幌市内にある共同スタジオ「0地点」に所属し活動しています。絵画や映像、パフォーマンスを通して高齢化社会とその中で起こるセルフケアを主題に作品を制作しています。近年では、親子関係や友人関係におけるコミュニケーションに取り組み、孤独化するプロセスを可視化する作品を展開しています。

佐藤瞭太郎は北海道出身のアーティストです。UnityやUnreal Engineなどのゲームエンジンを利用し、配布されているアセットを組み合わせて写真や映像作品を制作しています。2020年の新型コロナウイルス感染症の蔓延により、孤独に在宅せざるを得ないコロナ禍をきっかけに現在の制作手法を始め、映像作品「Outlet」ではさまざまなアバターがゲームのような空間で生活している様子が描き出されます。

山崎愛彦は札幌出身で現在は京都市立芸術大学博士課程に在籍しています。自身のSNSの画像や過去作品、そしてPCをトラックパッドで操作するマウスカーソルの軌跡をサンプリングして絵画を制作しています。個人の写真などの記録がSNSに保存・共有される現代の情報のあり方と、そこに自分の記録を残そうとする人の営みを、SNSを利用している作家自身をサンプルしながら可視化しています。

ZONE B

ZONE Bでは主に北海道・札幌を中心に活動するアーティスト11組による作品の展示販売を行います。これまでインスタレーションを中心とした企画してきた「空間」にとって、フェアという形で作家を紹介するのは新たな試みとなります。作家から直接作品を購入できるこの機会にぜひお越しいただけますと幸いです。

ARTISTS



『私の性格は母じめでつら』 2024



森山 美桜
Mio Moriyama



『Dummy Life #38』 2025



佐藤 瞭太郎
Ryotaro Sato



『8da0b6 (12'五条、グリーン)』 2025



山崎 愛彦
Yoshihiko Yamazaki

1994年北海道札幌市生まれ。2016年、札幌大学芸術学部卒業。2020年、北海道教育大学大学院教育学研究科修了。現在、京都市立芸術大学大学院美術研究科博士（後期）課程在籍中。
SNSに共有した写真をソフトウェアで分解・再構築し、複数の時間や場所を組み込んだコラージュを下図に絵画を制作する。作品はさらに画中画として引用され、入れ子状に蓄積していく。作られたイメージの重なりは、日常的な断片を媒介にしつつ、空虚さを含みながらも「保存」や「流通」といった現代の視覚文化を可視化する試みとなっている。主な展覧会に「熊倉涼子・山崎愛彦二人展 Links, Embed Images」(Gallery & Bakery Tokyo 8分、東京、2025年)、「開館50周年記念 mima 明日へのアーティストたちとともに」(北海道立三岸好太郎美術館、札幌、2016年)など。

ARTISTS

&blue 小石川 彩菜 小林 知世 葛西 由香 佐藤 祐治
爽あゆみ 堀江 理人 高橋 一矢 野澤 尚也 マシュマロ美
松本ナオヤ_くらたてさえ